

# す・とうぶだより

2020-07月号

## えごまの植え付け!

ようやく、早生ぶんのえごまの植え付けが、予定分すべて終わりました!

今年は元々田んぼだった畑は、すべて畝立てしてから植え付けしたので、去年に比べてひと手間増加したために、時間がかかりました。

でも、畝立ての作業は楽しいですね。きれいに立てられたところもあれば、広すぎたり狭すぎたり。斜めにいつちやつたりと、なかなかままならないところがあります。

同時期に植え付けていた向日葵も大きくなってきました。どれだけ咲かせてくれるか、こちらにも楽しみます。

これでやっと一段落なんです。すぐさま晩生ぶんのえごまのパレット作りが待っております。うん、がんばろう。(加藤)



植え付けたえごま



自作した回転式コンポスト

いつも雑草や生ごみ、残渣等の処理に困っていましたが、木製のコンポストを作りました。

この中に腐葉土や籾殻くん炭、米ぬかなどを入れておきます。発酵した雑草や生ごみを入れると、微生物の力で分解を促し、どんどん土にしていきます。

また、回転式なので手を汚さずに土をかき混ぜることができず。

これを使って、少しでも雑草や生ごみを減らして、良い土にして野菜作りをしていければと思います。

畑の大麦も、一度鹿に新芽を食べられましたが、もう少しで収穫できそうです。(青野)

## 回

### 回転式コンポスト

作りました。

## 経済活動再開へ!

新型コロナウイルス感染症の対策として、外出自粛・休業要請・テレワークの推奨等、日常生活に大きな影響が出ました。

6月以降、感染拡大リスクが抑制されてきたために、様々な施設で再開されてきています。奈良県内においても、感染症の再拡大を防止しつつ、経済の回復を図る取組が行われます。

観光の分野では、県民向けに県内の観光・宿泊需要を喚起する割引キャンペーン等が実施される予定です。

昨年までイベントを行った際に市内中心部ですら、東部地域のことを知らない方が多くいることを実感しました。

二密の回避や感染防止対策に取り組みつつ、「さとやま民泊」を通じて東部地域に関心を持ってもらいたいと思っています。(松村)



「さとやま民泊」パンフレットは、観光施設や公共施設に設置しています。